

公益社団法人 日本技術士会 神奈川県支部 実施報告書

開催日	令和3年(2021年)03月27日(土)
開催時間	13:30~16:40
名称	技術者の国家資格「技術士」への道ガイダンス
主催者	修習技術者支援委員会
開催場所	波止場会館5階多目的ホール、ZoomによるWeb配信
行事内容 (100文字程度)	技術士の知名度向上、受験者の増大を目的に技術士制度、技術士試験の状況の説明、最近合格された方の体験談を行った。また、最後の質疑応答では参加者の疑問、悩みなどについて答えた。
参加人数	学生・教職員：4名、準会員：15名、一般・社会人：13名、正会員：4名

概要

1. 令和2年度技術士試験の状況と令和3年度の予定

講師：修習技術者支援小委員会委員長 小林 進

試験センターに提供して頂いた情報をもとに、日本技術士会の沿革、技術士の登録者の状況、令和2年度の技術士第一次試験の状況と令和3年度の予定、令和元年度の技術士第二次試験の状況と令和3年度の予定について解説があった。また、今年は日本技術士会創立70周年になるなどの話があった。

2. 技術士制度について

講師：修習技術者支援小委員会委員 福田 遵

最初に、土光敏夫氏の言葉を用いて技術士の概要と定義について説明し、技術士制度、技術士の義務と責務の紹介があった。続いて、技術士第一次試験と第二次試験の内容及と問われる内容と技術士になった後もCPDとして継続研鑽必要なこと、企業での技術士への処遇などについて話があった。

3. 技術士に求められる「資質・能力」の修得方法

講師：修習技術者支援委員会委員 河相 雅史

平成26年に文部科学省が発表した「技術士に求められる資質能力」の資料をもとに、技術士第一次試験と第二次試験との関係について紹介があった。最後に、継続的な資質育成の重要性と専門職としての資質育成と継続的スパイラルアップが重要なことを強調されていた。

4. 「技術士への道」体験談

(1) 機械部門 古瀬 晴邦氏

企業での経験を広く社会に役立てたいという思いから技術士を目指したと受験の動機について話があった。しかし、合格するまでは長い道のりであったが、周囲の支えがありチャレンジし続けることができたこと述べていた。

(2) 情報工学部門 亀田(磯尾)佳代子氏

入社時に周囲に技術士がいたのが受験の動機であり、育児休暇中に一次試験を受験して職場復帰後に二次試験を目指す中で、その思いが強くなった。しかし、子育てと仕事の両立と受験に対するモチベーションの維持が難しく、社内に仲間を作ることで乗り越えることができたとの話があった。

(3) 体験談3 講師：電気電子部門 加藤 哲生氏

受験の動機として個人的な動機と社会的な動機の2つの側面から説明があった。合格までは時間を要し、モチベーションを維持するために、社内外で技術士を目指す人との交流、定期的に社内外の技術士の人に論文を見てもらうなどを行ったとの話があった。

5. 質疑応答(パネル討論)

坪井副委員長の進行により会場参加者とWeb参加者5名からの質問に対応した。主な質問としては業務経歴として認められる業務、転職した場合の業務経歴の証明などがあった。

写真

講師全員による質疑応答の様子

